

暑さも少し和らいで体育大会、文化発表会と大忙しの月がやってきました。運動場から聞こえる行進の音楽や笛の音、皆さんの元気のいい掛け声にこちらの気持ちも盛り上がっています。

みなさんに負けないよう、こちら図書館でも盛り上げていきたいと思います。

まずは先月の続きで本の外側の話から。

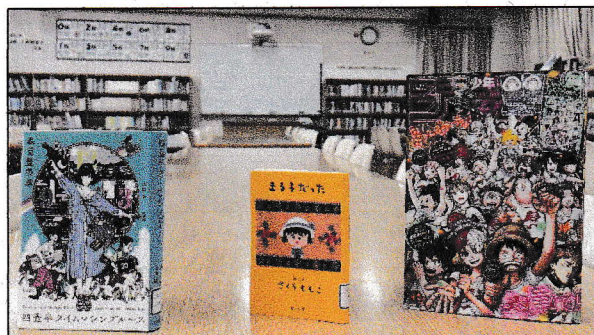
本の外側うんちく話

今月は本の外側の思わず『へ〜』と言ってしまいそうな話をしたいと思います。

まず本は出版社から発行されます。この出版社にはどんなところがあるかわかりますか？

ジャンプでおなじみ集英社。コロコロコミックや学年別雑誌の小学〜年生は小学館。アニメやゲーム、映画など幅広く展開しているのはKADOKAWA。他にも講談社、新潮社、岩波書店などがあります。みなさんが普段使っている教科書も啓林館、東京書籍などの出版社から発行されています。

発行された本はだいたい何種類かの大きさにわかれています。例えば、
単行本（ハードカバーに多い。写真左）
文庫本（ポケットサイズ。写真中央）
B5判（週刊誌や雑誌コミックなど。写真右）
などのサイズがあります。



文庫本くくりの話ですが、実は出版社によって少しずつ高さが違います。

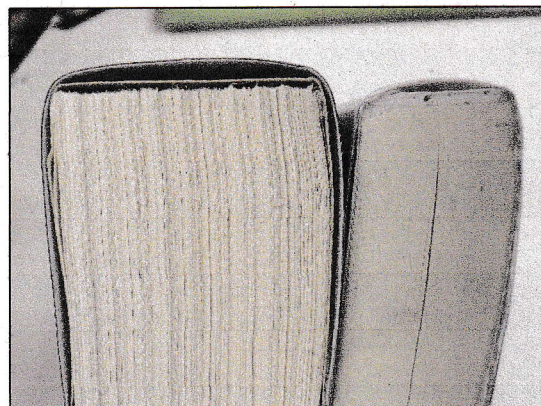
早川書房が一番背が高い。

左から
KADOKAWA
講談社
新潮社
早川書房



天の部分は、ザラザラしている本（早川書房と新潮社）と、ツルっとしている本（KADOKAWAと講談社）があります。

左が早川書房。
右が講談社。



しおり（スピンとも呼ばれている）がついているのは新潮社だけです。

写真左

どうでしたか？まだまだ本についての『へ〜』があるのですがそれはまたおいおいに。

実は借りられるコミックもある

桃中図書館には「鬼滅の刃」「文豪ストレイドッグス」など禁帯
と言って図書館の外への持ち出し、貸出ができないコミックばかり
でなく、実は貸出OKになっているコミックもあります。



このシールが背表紙
に貼ってあると借り
られません。

日本の歴史や個人伝記のコミックはもちろんなんですが、娯楽
だけではなく何か学びにつながりそうなコミックは貸出可能本として配置しています。
今回はその中から4冊紹介したいと思います。

『吹奏楽に恋をして!』 由女

このコミックは、「響け! ユー
フォニアム」の前に刊行された
本で、吹奏楽をやっていた人に
ってはあるあるの吹奏楽ネタは
もちろん、音楽好きな人や興味の
ある人に吹奏楽の楽しさを伝えて
くれます。



『憑きそい』 山森めぐみ

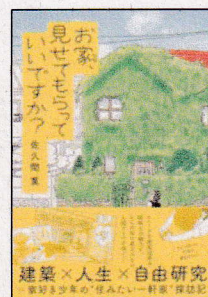
すべて実体験。タイトルから
わかる通りホラーです。作者は
普通の主婦の方。でも他人には
見えないものが見えてしまう。

「黒い服の人」「そっちじゃ
ない」本のタイトルにもなって
いる「憑きそい」を含む全13話。



『お家、見せてもらっていいですか?』 佐久間薫

アニメやゲームよりも家を探求することに情熱を注ぐ小学3年生の
家村道生が、自由研究のためにチョコDEパイをお礼として近所の気にな
るお家を見せてもらうというお話。建築のお話だけでなく、道生と
家主の交流にもドラマがあっておもしろい。



『戦争は女の顔をしていない』 スヴェトラナ・アレクツシェーヴィッチ

第二次世界大戦で軍医や看護婦としてだけでなく兵士として武器を手に
して戦った女性にインタビューし戦争のリアルを描いた作品。

ただ、戦争の悲惨さだけでなく敵味方を超えた「人間愛」と呼べる様な
話も収まっていたことは救いだなと思えた。

桃中には5巻まで揃っていますが、その内1冊でもいいので読んでみて欲しい。



この辺りにあります。

他にも

『ただいま収蔵品整理中』や

『水族館飼育員のキッカイな日常』
のようなお仕事コミックもあります。

